

・ホームページ (<https://janet-dr.com/>) に多くの情報を載せています。市民と学会の交流、学会間、日本学術会議、府省庁などの交流・連携活動などに活用してください。

・ホームページの中にこれまでの貴重な講演動画をアーカイブしています。「講演動画」のボタンをクリックし、検索（虫眼鏡）の欄に「講演者、技術用語など」を入力すると、関係する動画を探することができます。皆様のご活用を期待いたします。

1) 日本学術会議公開シンポジウム／第15回防災学術連携シンポジウム

「気候変動がもたらす災害対策・防災研究の新展開」（2023/04/11、13：00～17：00）

関東大震災から100年にあたり、地震災害とともに、私たちに迫りくる気候変動に伴う災害に対しても、意識の向上や災害対策を進めていくことが重要である。近年、台風・豪雨災害が毎年発生し、猛暑を含め異常気象による災害リスクも深刻となっており、世界各地でも熱波や洪水・干ばつなど、地球温暖化の進行も反映して災害が頻発している。さらに、国土と社会構造の変化に対応して災害の態様も変化してきている。このような状況も踏まえて災害対策や防災研究を進めていく必要がある。このため、日本学術会議 防災減災学術連携委員会と、62学協会等で構成する防災学術連携体は、「気候変動がもたらす災害対策・防災研究の新展開」をテーマに公開シンポジウムを開催する。シンポジウムでは、防災に関わる学協会の専門家が集い、気候変動がもたらす災害リスク、避難・救命救助・復旧活動などの防災対応、国土利用・まちづくりなど災害対策についての最新の研究・取組を共有し、今後の災害対策・防災研究のあり方を議論・展望する有意義な機会としたい。 [プログラム詳細](#) [ご案内 PDF](#)

2) 日本学術会議学術フォーラム／第16回防災学術連携シンポジウム

「関東大震災100年と防災減災科学」（2023/07/08、10：00～18：00）

1923年に南関東を中心に発生した関東大震災は、地震や火災などにより首都圏や周辺地域に甚大な被害を引き起こし、当時およびその後の社会へも非常に大きな影響を与えた。2023年はこの関東大震災から100年目を迎える。これを機に、関東大震災を振り返り、当時何が起こったのか、現在までにどのように社会は変わってきたのか、地震・地震工学はどのように発展してきたのか、またこれからの課題は何か、などを学協会の枠を超え情報共有することは重要である。学術フォーラムは基調講演と4部構成で進め、地震・地震動から、都市計画、災害医療、情報・社会等に至る防災に関わる多様な分野の研究者の発表を通じ、議論を深める。 [プログラム詳細](#) [ご案内 PDF](#)

3) 令和5年トルコ・マラッシュ地震に関する緊急報告会を開催しました（2023/02/27）

- 趣旨説明 和田 章（防災学術連携体代表理事、東京工業大学名誉教授）
- トルコ・シリア地震の概要について 平田 直（東京大学名誉教授、地震本部・地震調査委員会委員長）
- トルコ・マラッシュ地震に関する緊急報告 Prof. Fatih Sutcu（イスタンブール工科大学助教授）

https://janet-dr.com/050_saigaiji/2023/2023Turkey.html / [YouTube](#)

4) 防災推進国民大会2023に参加します（2023/09/17～18）

詳細決まり次第、お知らせいたします。

5) WEB研究会とアーカイブス

会員学協会の防災連携委員と学識会員を対象に、テーマを決めたWEB研究会を継続的に開催し学会間の情報交流と相互理解を進めています。最先端の分かりやすい話題があり講演動画をホームページ上に載せて一般公開しております、是非ご視聴下さい。 [WEB研究会のアーカイブス](#)

6) 会員、特別会員、学識会員の紹介

防災学術連携体の活動は [59の会員（学会）](#)、[3つの特別会員（協会）](#) および [31名の学識会員](#) によって進められています。

防災学術連携体幹事・代表幹事 森本章倫（早稲田大学教授、日本都市計画学会会長）
代表幹事 米田雅子（東京工業大学特任教授、日本学術会議会員）
幹事・事務局長 田村和夫（日本学術会議連携会員）

防災学術連携体事務局 website@janet-dr.com
担当：麓 絵理子（フモト エリコ）、小野口弘美（オノグチ ヒロミ）
・ニュースレターの配信依頼、配信解除もここにご連絡下さい